



わが社のインターンシップ

— インターンシップ委員会から —

1. 化学工学会インターンシップ実習の紹介 千代田化工建設株式会社

千代田化工建設は、2008年から毎年2名程度、主に学生の長期休暇を利用して、化学工学会の会員学生向けのインターンシップ実習(約3週間)を実施しております。

2014年度に実施の実習を例として、その概要を紹介いたします。

〈場所〉弊社グローバル本社内(横浜市みなとみらい)

〈宿泊施設〉社員寮(実家から通うのが困難な方のみ)

〈演習・内容〉エンジニアリング業務体験

(主な目的)

- ・実務を通じて、基礎学力の重要性を認識する。
- ・LNGプラント(冷凍系システム)のプロセス設計を通じて、エンジニアリング会社の業務及びプロセスエンジニアの役割を理解する。
- ・当社の水素供給事業につき、デモンストレーションプラントを通じて理解する。

〈実習部署担当者の感想〉

- ・LNGプロセスの講義や演習は実習生にとって初めての経験であったが、演習の目的や意図を理解してもらい、課題に真摯に取り組むことの重要性を学んでくれた。
- ・実習を通じて、普段大学で学んでいる知識が企業でどのように活かされているのかを理解し、今後の活動につなげてほしい。

〈実習生の感想〉

- ・コストやスケジュールを考慮しながら業務に取り組む姿勢を学ぶことができ、エンジニアリング企業の全体像をつかむことができた。
- ・プロセスエンジニアの仕事は、ゼロからプラントをつ



実習風景



水素供給事業デモプラント

くるということだけではなく、増改築や技術コンサルティング等の多くの業務もあることを知った。

- ・大学では得られない専門的な知識や、実際の商業・工業に即した化学工学の知識を学ぶことができた。

化学工学を専攻する学生が企業で実務を体験することで、学生の皆さんのキャリア形成の切掛けとなると共に、企業としても社会的な役割を理解してもらえる良い機会となります。インターンシップを通しての産学交流が、化学工学分野の更なる発展に繋がることを期待します。



Madoka KAWAKAMI

1982年 早稲田大学大学院理工学研究科修了

現在 千代田化工建設(株)水素チェーン事業推進ユニットグループリーダー

連絡先: 〒220-8765 横浜市西区みなとみらい4-6-2 MMGCT

E-mail kawakami.madoka@chiyodacorp.com